
公益社団法人 自動車技術会
学術講演会原稿執筆要領

第 31 版

	ページ
I 予稿原稿・Summarized Paper 原稿執筆要領, 及び PDF 作成方法	1
II 講演資料(パワーポイント等)作成要領	7
III キーワード	8

事務局:

I 予稿原稿・Summarized Paper 原稿執筆要領、及び PDF 作成方法

1. 予稿原稿 執筆要領

- (1) 使用言語
日本語または英語とし、講演(口頭)の使用言語と同一として下さい。
- (2) ファイル形式
PDF
- (3) カラー
図・写真については、カラーが可能です
- (4) 構成 (原稿作成の際は大会ウェブサイト上にある「予稿原稿作成テンプレート」を必ずご使用下さい。)
 - ① ページ設定
A4サイズ/上マージン25mm、下マージン25mm、左右マージン18mm
 - ② 段組、行数など
左右2段組み、1段当たり47行、1行当たり27字(日本語のみ)
⇒ 1段の高さ 247mm、幅83mm、左右の段の間隔8mm
 - ③ ページ数
日本語原稿 2ページ以上 6ページ以内
(自動車技術会論文集(日本語論文集)またはIJAEに投稿を予定している場合は、2ページ)
英語原稿 2ページ以上 8ページ以内(IJAEに投稿を予定している場合は、2ページ)
- (5) 原稿 (大会ウェブサイト上にある「予稿原稿作成見本」を必ずご参照下さい。)
 - ① 講演番号、文献番号
講演番号、文献番号は事務局側で記載しますので、著者側で記載しないでください。
 - ② 主題
⇒ 和文原稿:主題 14ポイント、明朝体
⇒ 英文原稿:主題 16ポイント、Times New Roman, Upper and Lower Case(最初の文字は大文字、他は小文字)で記載して下さい。
 - ③ 副題
副題はなるべく使用しないで下さい。やむを得ず付与する場合は、副題の前後には「ー」(ダッシュ)を記載して下さい。ただし、第〇報の記載を行う場合は、副題の先頭に記載して下さい。
⇒ 和文原稿:副題 9ポイント、明朝体
⇒ 英文原稿:副題 11ポイント、Times New Roman, Upper and Lower Caseで記載して下さい
 - ④ 著者名
a. 主著者を筆頭とし、姓・名を略さないで下さい。
b. 著者が複数の場合は、当該研究に寄与した人を必要最小限で記載して下さい。
c. 地位・身分・称号は省略して下さい。
d. 著者名の最後に片括弧書きで脚注の勤務先を示す番号(同一勤務先の場合は同一の番号)を記載して下さい。
例)自動車 太郎¹⁾ Ronbun Template²⁾
⇒ 和文原稿: 9ポイント、明朝体
⇒ 英文原稿: 11ポイント、Times New Roman(ボールド体)
e. 著者所属は研究を実施した時の所属機関名として下さい。
f. 講演者名には下線を引いてください
例)自動車 次郎¹⁾
 - ⑤ (和文原稿のみ)主題英文
②に沿った英文を記載してください。
⇒ 11ポイント、Times New Roman
 - ⑥ (和文原稿のみ)著者名英語
④に沿った英文を記載してください。
⇒ 9ポイント、Times New Roman
 - ⑦ 英文要旨
内容の要点を説明する100語から200語以内の英文にして下さい。
⇒ 英文9ポイント、Times New Roman
 - ⑧ キーワード(英文)
a. 全体の内容が推測できるよう「自動車技術会基準キーワード」の第1、第2及び第3カテゴリーよりキーワードを選定して下さい。第1カテゴリーからのキーワードの選定は必須とし、第2及び第3カテゴリーからも

- 極力該当するキーワードを付与して下さい。
- b. 自由キーワードは、著者が表題及び本文から自由に設定して下さい。
 - c. 各キーワード間には「、」を入れて下さい。
 - ⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman (基準キーワード部分はボールド体)、Upper and Lower Caseで記載して下さい。
- ⑨ 分類
「自動車技術会基準キーワード」の分類の中から一つだけ選び、キーワードの最後に付けて下さい。
⇒ 9ポイント、Times New Roman (()付き)
- ⑩ 本文
研究の目的、内容、結論を、下記の構成例を参考に、論理的な構成の下に明確な表現で書いてください。商業的な内容の記述はしないで下さい。
(構成例)
- a. 緒言 (まえがき) (研究の目的、内容の概略説明など)
 - b. 主部 (理論解析、実験装置・方法およびその結果、結果の解釈および考察など)
 - c. 結言 (むすび) (全体として得られた結論など)
 - d. 参考文献
- ただし、以上は一つの例であって、著者は内容に適した最も効果的な形式を選んで下さい。
⇒ 和文原稿：9ポイント、明朝体
⇒ 英文原稿：9ポイント、Times New Roman
- ⑪ 図(写真を含む)及び表
- a. 図表の表題及び図表中の用語は英文にして下さい。
 - b. 図の場合は、図の下に、表の場合は、表の上に図表タイトル(キャプション)を記載して下さい。
 - c. 原則として幅1段以内に表記して下さい。図表が幅1段に収まらない場合は、左右2段にまたがってもよいです。実験装置や重要な結果を示す図は大きめに作成して下さい。図表の横に空白部ができて、その空白部にはなるべく本文は記載しないで下さい。
 - ⇒ 図表タイトル: 英文 9ポイント、Times New Roman
 - ⇒ 図表中文字: 英文 7ポイント以上
- ⑫ 著者情報
(和文原稿)
- a. 1ページ目の左段下部分(脚注)に、著者の勤務先名、勤務先所在地(郵便番号、番地等を省略しない)を記載して下さい。
 - b. 同一勤務先の著者が複数いる場合はまとめて記載して下さい。
 - ⇒ 和文 9ポイント、明朝体
 - 例) 1)・2) (株)自動車技術会(102-0076 東京都千代田区五番町10-2) E-mailアドレスの記載は任意
- (英文原稿)
- a. 1 ページ目の著者名下部分に、著者の勤務先名、勤務先所在地(郵便番号、番地等を省略しない)をイタリック体(斜体)で記載してください。
 - b. 同一勤務先の著者が複数いる場合はまとめて記載して下さい。
 - ⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman
 - 例) 1)・2) *The University of JSAE, Graduate School of Engineering
10-2 Gobancho, Chiyoda, Tokyo, 102-0076, Japan (E-mail: 任意)*
- ⑬ 原稿の発行日(公開日)
原稿1ページ目のフッターに、事務局側で発表講演名と発行日(公開日)を記載しますので、著者側では記載しないでください。
- ⑭ 参考文献
文献を引用する場合には、該当個所の右肩に上付き「(1), (2, 3), (4-7)」のように一連の番号を付けて、本文の最後に出現順にまとめて表示して下さい(いわゆるバンクーバー方式とする)。以下の方針により記載して下さい。
- a. 論文を理解するために必要十分な数の文献を引用して下さい。
 - b. 一般に公表されていない文献(私信、投稿予定および投稿中で未発表の論文も含む)は原則として引用しないで下さい。
 - c. 著者の記載方法は、和文誌の場合には姓名の順で名前を省略せずに記載し、欧文誌の場合には、First name(もしあれば1文字空白を開けてMiddle name)をイニシャル+ピリオドで記載し、1文字空白を開けてFamily nameを省略せずに記載して下さい。

- d. 著者名の間は、和文誌の場合にはコンマで区切り、欧文誌の場合には2名までの著者の場合にはコンマなしの「and」でつなぎ、3名以上の著者の場合にはコンマで区切り最後の著者の前はコンマをつけた「, and」でつなげて下さい。
- e. 複数の著者がいる場合には4名までを記載し、4名を超える場合には和文誌の場合には「ほか」、欧文誌の場合には「, et al.」と記載して下さい。
- f. 欧文誌の論文タイトルについては、最初の一文字を大文字とし、他はすべて小文字で記載して下さい。ただし、略語等で大文字に意味のある場合(例:NOx, ADAS, ITS等)については大文字で記載して下さい。
- g. 文献に記載する誌名は、和文誌については原則として略記せずに記載し、欧文誌については当該誌の指定する略記を使用して下さい。
- h. 論文集の巻、号、ページを示す記号については、vol., no., pp. を使用せずに記載して下さい。(例:第13巻2号の56-61ページの場合には、13(2), 56-61と記載する)。書籍のうち部分的に引用する場合には該当するページを記載して下さい。書籍一冊を引用する場合にあっては全ページ数を記載する必要はありません。
- i. Digital Object Identifier (DOI) が付加されている文献には最後に DOI (doi:10.1016/1234.56.789) を記載して下さい。書籍にあってはInternational Standard Book Number (ISBN) を記載して下さい(例:ISBN:978-0-262-52585-5)。
- j. Webサイトの引用については、著者名(団体名)、Webサイトの名称、Webサイト URLを含めて下さい。URLのみの記載は適切ではありません。
- k. Webサイトの引用については、必ず参照日を明記して下さい。例(日本語表記の場合には、参照 2023年8月13日)(英文表記の場合には、accessed August 13, 2023 なお、月については日との混同を避けるため数字ではなくスペルで記載して下さい。また、日と年の間にコンマを入れて下さい。)
- l. フォントについては、日本語表記は明朝体(9ポイント)、英語表記はTimes New Roman (9ポイント)として下さい。
- m. 文献記載の最後(doi. 等の後)はピリオドで終了して下さい。

文献種類ごとの具体的な記載方法は以下とします。

a. 論文を参考にする場合

著者名：表題，雑誌名，巻（号），初めのページ—終りのページ，発行年，doi.

(記載例)

- (1) 自動車太郎：熱工学の先端領域と展望，自動車技術会論文集，150(2)，100-105，2099，doi:10.1016/yyy1234.07.231.
- (2) 自動車太郎，二輪花子，五番町次郎，四谷三郎ほか：ベイズ理論を応用した燃焼解析手法の提案，日本機械学会論文集，960(3)，45-51，2058，doi:10.1016/xyz1234.07.231.
- (3) J. F. Bush and A. C. Walden: Proposal of human centered design using innovative display systems, SAE Int. J. Passeng. Cars - Mech. Syst. 51(1), 689-708, 2039, doi:10.4271/ccc2039-01-0817. (欧文誌の2名の著者記載方法の例，3名以上の場合には最後の著者を「, and」でつなぐ。
- (4) A. Pfefferbaum, J. M. Ford, W. T. Roth, W. F. III Hopkins, et al.: Event-related potential changes in healthy aged females,” Electroencephalogr Clin Neurophysiol. 46, 981-986, 1979, doi:10.1016/0013-4694(79)90052-X.

b. 雑誌・講演概要集を参考にする場合

著者名：表題，雑誌名，巻（号），初めのページ—終りのページ，発行年，doi. のうち，必要な情報を記載して下さい。

(記載例)

- (5) 五番町次郎，二輪花子：生成AIを利用したドライバ評価手法の比較検討，自動車技術会2038年秋季学術講演会予稿集，20385678，2038.
- (6) 自動車太郎，四谷三郎：車両後部形状による揚力特性変化，日本機械学会第 54回計算力学講演会講演論文集，121-122，2038.
- (7) D. Chappuis: Small size devices for acoustical measurements used in automobiles, SAE Technical Paper 2039-01-0197, 2029, doi:10.4271/2039-01-1197.

c. 単行書1冊を参考にする場合

著者名：図書名，出版地，出版者，出版年，ISBN（もし付与されていれば）.

(記載例)

- (8) 吹抜敬彦：画像のデジタル信号処理，東京，日刊工業新聞社，1981，ISBN:978-4526012556.

- (9) S. J. Luck: An introduction to the event-related potential technique 2nd edition, Cambridge, MA, MIT Press, 2014, ISBN:978-0-262-52585-5.

d. 単行書の一部を参考にする場合

著者名：（参考にする章・節等の表題を記載する場合には“ ”でくくって下さい。）、図書名、出版地、出版者、参考にする個所の初めのページー終りのページ、出版年、ISBN（もし付与されていれば）。（記載例）

- (10) 森敏昭, 吉田寿夫: 心理学のためのデータ解析テクニカルブック, 京都, 北大路書房, 204-211, 1990, ISBN:4-7628-0131-3.
 (11) 永田靖, 吉田道弘: ”第5章ノンパラメトリック法”, 統計的多重比較法の基礎, 東京, サイエンス社, 63-79, 1997, ISBN:978-4914903466.
 (12) J. J. Eggermont: “Chapter 4 Hearing problems,” in Hearing loss causes, prevention, and treatment, Cambridge MA, Academic Press, 93-128, 2017, ISBN:978-0128053980.
 (13) P. L. Soendergaard and P. Majdak: “The auditory modelling toolbox,” in Technology of binaural listening, edited by J. Blauert, Berlin, Springer, 33-56, 2013, ISBN:978-3-642-37761-7. 欧文誌の2名の著者記載方法の例, 3名以上の場合には最後の著者を「, and」でつないで下さい。

e. Webサイトを参考にする場合

著者名(団体名)：Webページの題名, WebサイトURL (参照日付)
 (記載例)

- (14) 警察庁：ハイビームの上手な活用で夜間の歩行者事故防止, <https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/highbeam.html>, 参照 2024年8月23日。
 (15) SAE International: SAE International® continues to power EV innovation standards with release of J3400 E V coupler recommended practice, <https://www.sae.org/news/press-room/2024/10/sae-j3400-recommended-practice>, accessed October 14, 2024.

f. 規格文書を参考にする場合

規格番号, 制定年, 規格標題ほか必要な情報を記載して下さい
 (記載例)

- (16) JIS Z 8530:2021 : 人間工学一人とシステムとのインタラクションーインタラクティブシステムの人間中心設計。
 (17) ISO 9241-210:2010: Ergonomics of human-system interaction -- Part 210: Human-centered design for interactive systems.

⑮ その他の注意事項

- a. 表題・本文への会社名・商品名の明記、商業的な内容の記述はご遠慮下さい。
 b. 人を対象とする研究は、自動車技術会「人を対象とする研究倫理ガイドライン」を遵守して実施され、倫理審査委員会等による審査承認を得たものであること。また、予稿原稿中には実験等について審査承認を得ていることが記述されていること。
 (「人を対象とする研究倫理ガイドライン」<https://www.jsae.or.jp/public/incorporation/guideline/>)
 c. 本文の章、節、項の見出しには、番号を付けて下さい。番号はアラビア数字と句点「.」の組合せによって表し、原則として3段階(章.節.項)までとして下さい。
 d. 文章の区切りには読点「,」(カンマ)、句点「.」(ピリオド)を用いて下さい。
 e. 年号は西暦で記載して下さい。
 f. 外国語の固有名詞は片仮名書きとし、()を付して原語を添えることが望ましい表記です。ただし、一般に周知のものは片仮名書きのみとします。
 g. 外国語を片仮名書きするときに「 」や()は用いないで下さい。複合語は一つの単語として書き、空白や「・」(中黒)を用いないで下さい。
 例) クランクシャフト(crankshaft)
 h. 略語を使用する場合は、普通名詞、固有名詞にかかわらず、原語で記載して下さい。また、一般に周知でない略語を使用する場合は、最初に使用した個所で原語を()で付記して下さい。この場合の字体は正体として下さい。
 i. 用語は、文部科学省制定の学術用語及びJIS、JASO規定の用語規格によります。学術用語以外の用語についても旧文部省制定のあるものはそれにより、制定されていないものは、適正と思われる慣用語で記載し、原語を()で付記して下さい。

- j. 数量、序数を表す数字はアラビア数字を使用し、漢字と結合して名称や概数を表す場合は漢数字を使用して下さい。
- k. 小数点は、中央から下に表示し、桁数の多い数は、3桁ごとに「,」（コンマ）で区切って下さい。
- l. 国際単位系(SI)を使用して下さい。重要な数値には従来単位を併記しても問題ありません。
- m. 量記号はJIS Z 8202(量記号及び単位記号)、数学記号はJIS Z 8201(数学記号)、化学記号は万国化学記号、製図記号はJIS B 0001(機械製図)によります。
- n. 数式は(段組の)左右2段にまたがらないようにして下さい。数式に通し番号を付けるときは、右端に()を付けてその中に書いて下さい。文中で引用する場合には式(1)、式(2)のように書いて下さい。数式及び物理量を表す文字はイタリック(斜体)を使用し、単位を表す文字はローマン(立体)を使用して下さい。

2. Summarized Paper 原稿執筆要領

- (1) 使用言語
英語
- (2) ファイル形式
PDF
- (3) カラー
図・写真については、カラーが可能です
- (4) 構成(原稿作成の際は大会ウェブサイト上にある「Summarized Paper原稿作成テンプレート」を必ずご使用下さい。)
 - ① ページ設定
A4サイズ／上マージン25mm、下マージン25mm、左右マージン18mm
 - ② 段組、行数など
1段組、1段当たり47～50行
 - ③ ページ数
1ページ
- (5) 原稿(大会ウェブサイト上にある「Summarized Paper原稿作成見本」を必ずご参照下さい。)
 - ① 講演番号、文献番号
講演番号、文献番号は事務局側で記載しますので、著者側で記載しないでください。
 - ② 主題(英文): 1. (4)-③参照
⇒ 英文 16ポイント、Times New Roman
 - ③ 副題(英文): 1. (4)-④参照
⇒ 英文 11ポイント、Times New Roman
 - ④ 著者名(英文): 1. (4)-⑤参照
⇒ 英文 11ポイント、Times New Roman(ボールド体)
 - ⑤ 著者の勤務先等(E-mailアドレスは任意記載): 1. (4)-⑥参照
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman(イタリック体)
 - ⑥ 原稿の発行日(公開日)
原稿1ページ目のフッターに、事務局側で発表講演名と発行日(公開日)を記載しますので、著者側では記載しないでください。
 - ⑦ キーワード(英文): 1. (4)-⑧参照
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman(基準キーワード部分はボールド体)
 - ⑧ 分類: 1. (4)-⑨参照
⇒ 9ポイント、Times New Roman ([]付き)
 - ⑨ 本文(英文): 1. (4)-⑩参照
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman
 - ⑩ 図(写真を含む)及び表: Summaryを示す図表(写真を含む)を必ず一つ以上入れて下さい。
⇒ 図表タイトル: 英文 9ポイント、Times New Roman
⇒ 図表中文字: 英文 7ポイント以上

3. PDF 作成方法

- (1) 適切なPDF変換をするためにAdobe社のAcrobat 8.0以上の使用を推奨します。
- (2) フォントの埋め込みを行って下さい。作成時にPDF設定をプレス品質に指定するとフォントが自動的に埋め込まれます
- (3) 「色」は「カラー」に設定して下さい。
- (4) 図・写真の「解像度」はカラー・グレースケールで300dpi以上、白黒で600dpi以上にして下さい。

- (5) PDFファイルの「サイズ」は、「予稿原稿」は8MB、「Summarized Paper原稿」は1MB以下にしてください。
- (6) 「予稿原稿」と「Summarized Paper 原稿」は別ファイルにしてください。
- (7) PDF ファイルにはセキュリティ設定をかけないでください。

4. PDF ファイルのアップロード方法

- (1) 受付番号とパスワードを入力して講演受付システムにログインし、アップロードしてください。
- (2) 必ず拡張子 (***.pdf) が付いたファイルをアップロードしてください。
- (3) 予稿原稿と Summarized Paper 原稿は、同時にアップロードしてください。原稿提出締切日までは、何回でも再アップロード(更新)が可能です。原稿提出締切日以降の原稿の差し替えはできません。

Ⅱ 講演資料(パワーポイント等)作成方法

1. 講演資料(パワーポイント等)

(1) 使用言語

講演時に用いる映写資料(パワーポイント等)は、講演の使用言語が英語・日本語に関わらず、次を使用して下さい。

春季大会:「英語」

秋季大会:「英語」又は「日本語」

(2) ファイル形式

パワーポイント等

(3) 内容

① 予稿原稿の内容に沿ったものにして下さい。

② 商業的な内容を避け、商品名及び所属機関名、これらのロゴを含まないようにして下さい。(ただし、所属機関名、および所属機関のロゴ等は1ページ目のみに記載できることとします。)

(4) 作成の際の留意事項

① 1枚にひとつの事柄のみをまとめ、1分/枚程度を目安として下さい。

② 式や文字による説明は1枚に7～10行程度として下さい。記号や文字の太さは24pt以上にすると見やすくなります。

③ 図表の表題及び図表中の用語は英語にして下さい。

Ⅲ キーワード

キーワードの種類

キーワードは基準キーワード(自動車技術会基準キーワード)と自由キーワードの2種類です。

(1) 基準キーワード

全体の内容が推測できるよう「自動車技術会基準キーワード」の第1、第2及び第3カテゴリーより選定して下さい。
第1キーワードの選定は必須とし、第2及び第3カテゴリーからも極力該当するキーワードを付与して下さい。

(2) 自由キーワード

自由キーワードは、著者が表題及び本文から自由に設定して下さい。

① 具体的な意味のある語句で、できるだけ狭義な語句を選定して下さい

× Critical、Speed → ○Critical Speed

× Life → ○Tool Life、○Fatigue Life

② 名詞形を使用して下さい。

× Studied Experimentally → ○Experimental Study

③ 省略形は、(海外も含め)その専門分野で広く通用しているものに限りません。

(著者が作った新語は原則として使用しないで下さい。)

× ATC → ○Automatic Tool Change

→ ○Automatic Train Control

④ 複合語・複合句は慣用されているものに限りません。

× Fatigue Strength at Elevated Temperature

→ ○Fatigue Strength、Elevated Temperature

⑤ 合金名、化合物名、元素名、核種名などの記号は、フルスペリング(記号)で示して下さい。

× CrMo → ○Chromium Molybdenum (CrMo)

× Al₂O₃ → ○Aluminum Oxide (Al₂O₃)

× Cu → ○Copper (Cu)

⑥ 一群の同義語・類似語がある場合には、簡潔なもの、頻度の高いものを選択して下さい。

⑦ 取捨に迷う場合には、加えて下さい。

自動車技術会基準キーワード
Automotive Technology: Standardized Keywords

2010年5月発行/Issued: May 2010
2013年10月改訂/Revise: October 2013
2025年10月改定/Revised October 2025

(*) ... 英語は末尾にフルスベルを表記
(*): Items marked with an asterisk are spelled out in the definition.

分類 Category Code	目的・分野 Purpose/field	目的の対象 (もの、ハードおよびソフト)	Objects/hardware/software	手法・内容および技術要素	Means/details/component technologies		
	第1カテゴリー Category 1	第2カテゴリー	Category 2	第3カテゴリー	Category 3		
(A1)	① 熱機関 heat engine	圧縮着火機関	compression ignition engine	計測/診断/評価	measurement/diagnosis/evaluation		
		火花点火機関	spark ignition engine	数値計算	numerical calculation		
		予混合圧縮着火	homogeneous charge compression ignition	設計/制御	design/control		
		新型機関	new combustion model/new combustion model engine	理論/モデリング	theory/modeling		
		ロータリ機関	rotary engine/rotary combustion engine	性能/燃費/効率	performance/fuel economy/efficiency		
		スターリング機関	Stirling engine	燃焼解析	combustion analysis		
		ガスタービン/蒸気タービン	gas turbine/steam turbine	排出ガス/有害排出物	emissions gas/harmful emissions		
		エンジン部品・要素	engine component or element	燃料噴射/燃料噴霧	fuel injection/fuel spray		
		ターボチャージャ/VGターボ	turbocharger/variable geometry turbo	吸排気	intake and exhaust		
		スーパーチャージャ	supercharger	過給	supercharging		
		可変動弁機構	variable valve train	混合気形成/ガス流動	mixture formation/gas flow		
		エンジン補機類	engine accessory	燃料改善/燃料改質	fuel improvement/fuel		
		ターボコンパウンド	turbo compound	添加剤	additive		
		後処理システム	post treatment system	潤滑/トライボロジー	lubrication/tribology		
		三元触媒	three-way catalyst	振動/騒音	vibration/noise		
		deNOx触媒/SCR脱硝/NOx還元触媒	de-NOx catalyst/selective catalytic reduction NOx removal/NOx reduction catalyst	冷却	cooling		
		微粒子フィルタ	particulate filter				
		燃料/代替燃料	fuel/alternative fuel				
		(A2)	② 動力伝達系 power transmission	ガソリン/軽油/灯油/重油	gasoline/light oil (gas oil/diesel oil)/heavy oil		
				エタノール/BDF	ethanol/bio-diesel fuel		
LPガス/天然ガス/水素	liquefied petroleum gas/natural gas/hydrogen						
DME/FT合成油	dimethyl ether/Fischer-Tropsch synthetic oil						
潤滑油/エンジンオイル	lubricating oil/engine oil						
発進システム	start control system			加工	machining		
変速機	transmission			材料	material		
デファレンシャル/終減速機	differential/final reduction gear unit			強度	strength		
MT	manual transmission			疲労	fatigue		
AT	automatic transmission			機構	mechanism		
CVT	continuously variable transmission						
AMT/DCT	automated manual transmission/dual clutch transmission						
新型トランスミッション	new type transmission						
動力分配システム	transfer						
AWDシステム	all-wheel drive system						
ハイブリッドシステム	hybrid system						
駆動軸/ジョイント	drive axle/joint						
クラッチシステム	clutch system						
歯車/ギアシステム	gear/gear system						
ドライブトレイン	drivetrain						
ベルトドライブ/トラクションドライブ/チェーンドライブ	belt drive/traction drive/chain drive						
制御システム	control system						
油圧システム	hydraulic equipment						
同期機構	synchromesh						
軸受	bearing						
潤滑油/トランスミッションオイル	lubricating oil/transmission oil						
(A3)	③ EV・HVシステム (*) EV and HV systems	モータ	motor	モータ特性	motor characteristics		
		モータ駆動システム	motor drive system	電気動力変換	electric power conversion		
		インバータ/コンバータ	inverter/converter	エネルギー回生	energy regeneration		
		パワーコントロールユニット	power control unit	システム技術	system technology		
		電池技術	battery technology	充電インフラ	filling infrastructure		
		リチウムイオン電池/ニッケル水素電池/鉛電池	lithium ion battery/nickel-metal hydride battery (nickel hydrogen battery)/lead-acid battery	動力分割	power split		
		SOC	state of charge (SOC)	絶縁	insulation		
		充電/放電	charge/discharge	標準化	standardization		
		車載充電システム	onboard charging system	法規	regulation		
		蓄電システム	power storage system	電気安全 (感電防止)	electrical safety (electric shock prevention)		
		電動補機/空調	electrical accessories/air conditioning	EMC	electromagnetic compatibility		

		補機システム	accessories	普及政策	policy of popularization
		プラグインハイブリッド	plug-in hybrid	エネルギーバランス	energy balance
		燃料電池	fuel cell	エネルギーマネジメント	energy management
		スタックセル	stack cell	冷却/熱・温度マネジメント	cooling/heat and temperature management
		水素タンク	hydrogen tank		
		水素製造/改質	hydrogen production/hydrogen reforming		
		エネルギー充填/水素充填/インフラ	energy replenishment/hydrogen filling/infrastructure		
		エネルギー制御システム	energy control system		
		ブレーキ制御/回生協調ブレーキ	brake control/regenerative-friction brake coordination		
(B1)	④ 車両運動 vehicle dynamics	電子スタビリティ制御	electronic stability control	運動制御	motion control
		サスペンションシステム	suspension system	車両力学	vehicle dynamics
		電子制御サスペンション	electronically controlled suspension	評価技術	evaluation technology
		ブレーキシステム	brake system	ドライバモデル	driver model
		ブレーキバイワイヤ/ABS	brake-by-wire/antilock brake system (ABS)	操縦安定性	driving stability
		ステアリングシステム	steering system	力学モデル	dynamic model
		ステアバイワイヤ/パワーステアリング	steer-by-wire/power steering	道路環境認識	road environment recognition
		タイヤ/ホイール	tire/wheel	運転意図認識	driver intention recognition
		シャシ/コンポーネント	chassis/component		
		車間距離自動維持運転システム	adaptive cruise control system		
		車線維持支援システム	lane-keeping assistance system		
		横滑り防止装置	electronic stability control		
		二輪車/大型車両/特殊車両/航空機	motorcycle/heavy duty vehicle/special vehicle/aircraft		
(B2)	⑤ 車両開発 vehicle development	プラットフォーム	platform	性能計画	performance plan
		CAD/CAM/CAE	computer-aided design (CAD)/computer aided manufacturing/computer aided engineering	エクステリア/インテリア	exterior/interior
		パーソナルモビリティ	personal mobility	カラー	color
		ホワイトボデー	body shell/white body/body in white	車体構造/車体設計	body structure/body design
		バンパ/ボデー外板	bumper/body model	構造部材解析	structural member analysis
		インストパネル	instrument panel	車両計画	vehicle plan
		シート/照明	seat/lighting	軽量化	weight reduction
		デザイン	design	設計最適化/ロバスト設計	design optimization/robust design
		HILS	hardware in the loop simulation	設計シミュレーション/設計ツール/設計モデリング	design simulation/design tool/design modeling
				短期試作/仮想進行	rapid prototyping/virtual planning
				車両用途	vehicle application
				モータスポーツ	motor sports
				信頼性	reliability
(B3)	⑥ 振動・騒音・乗り心地 vibration, noise, and ride comfort	パワートレイン/車体/エンジン懸架系	power train/body (vehicle body)/engine mounting system	CAE解析/予測/最適化	CAE simulation/forecast/optimization
		吸排気システム/駆動系	intake and exhaust system/drive line (drivetrain)	有限要素法/境界要素法	finite element method (FEM)/boundary element method (BEM)
		サスペンションシステム	suspension system (suspension)	評価技術/計測技術/音源探索技術	evaluation technology/measurement technology/sound source search technology
		ブレーキ/タイヤ	brake/tire	マルチボディダイナミクス	multi-body dynamics
		車体構造/車体材料	body structure/body material	統計的エネルギー解析法	statistical energy analysis
		防音材	acoustic material	フルビークル解析	full-vehicle simulation
		補機・デバイス騒音	accessory and device noise	実験解析技術	test and analysis technology
		アイドル振動騒音/加速時騒音	idling vibration/idling noise/acceleration noise	最適化技術	optimization technique
		こもり音/振動	booming noise/vibration	音質評価/乗り心地評価	sound quality evaluation/ride comfort evaluation
		静粛性	quietness	デバイス技術/制御技術	device technology/control technology
		ドラミング (低周波ロードノイズ)	drumming noise (low frequency road noise)	モード解析/伝達経路解析/流体騒音解析	modal analysis/transfer path analysis/fluid induced noise analysis
		ロードノイズ/パターンノイズ	road noise/pattern noise		
		パワートレイン揺動 (始動/発進/変速)	powertrain oscillation (powertrain start/vehicle start/shift)		
		うなり音 (パワートレイン/駆動系)	whine/growl/beat noise (powertrain/drive line (drivetrain))		
		ギア音	gear noise		
		乗り心地	ride comfort		
		ハーシュネス	harshness		
		シミー	shimmy		
		走行車体振動	body vibration while driving		
		風切り音	wind noise		
		ブレーキ鳴き/ジャダー	brake noise/judder		
		車外騒音/騒音規制	exterior noise/noise regulation		

(C1)	⑦安全 safety	衝突安全/火災安全/予防安全/統合安全	passive safety (collision safety/crash safety)/fire safety/active safety/combined active and passive safety/integration control/integrated control	道路環境認識	road environment recognition
		安全教育	safety education	画像処理/情報処理	image processing/information processing
		素材可燃性テスト	material flammability test	知能化/コンピュータ応用	intelligent/computer application
		抑制システム	suppression system	乗員検知/乗員の安全	occupant detection/occupant safety
		救命救急/乗員保護/歩行者・2輪乗員保護/交通弱者保護	first aid/occupant protection/pedestrian and bicycle and motorcycle rider protection/protection for vulnerable road users	被害軽減	damage mitigation
		事故回避/衝突予知	accident avoidance/collision prediction	衝撃吸収・緩和	energy-absorbance and impact attenuation
		衝突試験	crash test	事故解析/事故統計解析	accident analysis/statistical accident analysis
		後方衝突/側方衝突/前方衝突	rear end collision/side impact/frontal collision	事故調査・分析	accident investigation and analysis
		防火	fire protection	ヒヤリハット解析	near-miss analysis
		ブリクラッシュ	pre-crash	救命率/初療開始	survival rate/start of initial treatment
		コンパチビリティ	compatibility	傷害予測	injury prediction
		ドライビングシミュレータ	driving simulator	傷害メカニズム	injury mechanism
		エアバッグ/シートベルト	air bag/seat belt	事故再現/事故復元	accident reconstruction/accident re-creation
		人体モデル/ダミー	anthropomorphic dummy/crash test dummy	安全人体モデル	anthropomorphic dummy
		ドライブレコーダ/EDR	drive recorder/event data recorder	車両転覆	rollover
		車体構造	body structure	センサ技術	sensor technology
		シート/ヘッドレストレイント	seat/head restraint	高齢者耐性/高齢者運転特性	injury tolerance of older people/characteristics of older drivers
		高齢者保護/子ども保護	protection of older people/child protection	受傷部位/加害部位	injured area/impacting area
		CRS	child restraint system	重傷度 (AIS)	abbreviated injury scale
		妊婦乗員保護	expectant mother protection	車両運動制御/エアバッグ制御	vehicle dynamics control/airbag control
		歩行者検知/保護	pedestrian detection/protection	車線維持制御	lane-keeping control
		自動ブレーキ	automatic brake	ナビゲーション	navigation system
		被害軽減ブレーキ/警報	damage mitigation brake/warning	車車間・路車間通信	vehicle-to-vehicle and infrastructure-to-vehicle communication
		知能化自動車	intelligent vehicle	運転支援/ドライバ支援	driving support/driver support
		ACC	adaptive cruise control	ISS	injury severity score
		道路環境	road environment	マクロデータ/マイクロデータ	macro data/micro data
		交差点カメラ	intersection camera	リスクカーブ	risk curve
		傷害データベース	injury database	加害性	risk
		臨界安全システム	critical safety system	デルタV	delta-v/change in velocity
		シートベルトリマインダ	seat belt reminder	回避行動	evasive action
		事故通報システム (ACN)	automatic crash notification/automatic collision notification	試験/評価	test/evaluation
		ドクターヘリ/ドクターカー	doctor helicopter/doctor car	第三者評価	third-party evaluation
		免許制度	licensing system	法規	regulation
		傷害基準	injury criteria	CAE	computer aided engineering
インパクト	impactor				
ヘルメット	helmet				
(C2)	⑧人間工学 human engineering	高齢者	elderly person (people)	高齢者対応	elderly person (people) support
		人体傷害	human body injury	実験倫理/技術倫理	experiment ethic/engineering ethic
		バイオメカニクス	biomechanics	ストレス/主観/パフォーマンス評価	stress/subjective view/performance evaluation
		生体計測/運転心理	bioinstrumentation/driving psychology	ドライバセンシング/ドライバモニタリング	driver sensing /driver monitoring
		ドライバ状態	driver condition	ドライバモデル/ライダーモデル	driver model/rider model
		認知反応時間	cognitive reaction time	ドライバ状態モニタリング	driver condition monitoring
		居眠り/飲酒	drowsiness/alcohol drinking	ドライバ特性/ドライバ行動/ドライバ疲労/ドライバ注意	driver characteristics/driver behavior/driver fatigue/driver attention
		タスク負荷	task load/driver burden	運転特性	driving characteristics
		心拍測定	cardiotachometry	ドライビングシミュレータ	driving simulator
		リスク補償	risk compensation	視界/視認性/操作性/制御性/乗降性/快適性	field of vision/visibility/operability/controllability/ease of egress and ingress/comfort
		過信/不信	overconfidence/disaffection	聴覚/力覚/触覚	sense of hearing/sense of force/haptic sense
		ヒューマンインタフェース	human interface	認知/判断	recognition/judgment
		車酔い/香り/覚醒	car sickness/aroma/awakening	操作	operation
		疲労/負担	fatigue/workload	運転姿勢	driving posture
		ディストラクション	distraction	個人差	individuals difference/variation
		ワークロード	workload	精神負担/身体負担	mental workload/physical workload
		リスク認知	risk recognition	脳・神経系/筋・骨格系	cerebral nerve system/musculoskeletal system

		ヒューマンエラー	human error	生体計測/生体力学	bioinstrumentation/biomechanics
		感性/視覚/視認性	sensitivity/vision/visibility	運転支援	driving support/driver support
		HMI	human machine interface	警報	alarm/warning
		警報システム	warning system	生理計測	physiological measurement
		情報提供システム	information systems	自律神経/中枢/内分泌	automatic nervous system/central nervous system/endocrine secretion
		意図確定	intent determination	視覚系/嗅覚系	visual system/olfactory system
		運転能力	driving ability	形態・動態特性/感性・知覚特性	morphological and dynamic characteristics/perceptual and sensory characteristics
		ドライブレコーダ	drive recorder	操作量/作業成績	operation amount/operational performance
		質問紙/インタビュー	questionnaire/interview	行動観察	behavior observation
		運転行動	driving act/driver behavior	精神・肉体疲労	mental and physical fatigue
		ユーザビリティ	usability	HMI	human machine interface
		温熱環境	thermal environment		
		ドライビングポジション	driving position		
		メンタルモデル	mental model		
		顔表情	facial expression		
(D1)	⑨熱・流体 heat·fluid	車体/エンジン/吸排気系/部品要素	body/vehicle body/engine/intake and exhaust system/part element	CFD	computational fluid dynamics
		空力性能/空力騒音	aerodynamic performance/aerodynamic noise	風洞試験	wind tunnel test
		ラジエータ/オイルクーラ	radiator/oil cooler	アルゴリズム/モデリング	algorithm/modeling
		油冷システム/空冷システム	oil cooling system/air cooling system	車室内環境	interior environment
		エアコンディショナ	air conditioner	エンジン冷却	engine cooling
		冷媒	refrigerant	空調/快適性	air conditioning/comfort
		空気質/臭い	air quality/odor	温度制御/環境制御	temperature control/environmental control
				熱害	heat damage
(D2)	⑩環境・エネルギー・資源 environment·energy·resources	リサイクル	recycling	環境重視型生産	environmentally conscious production
		リユース	reuse	環境指向型生産設計/リサイクル設計	environment-oriented production design/recycle
		レアメタル/レアアース	rare metal/rare earth	メンテナンス	maintenance
		ISO14000	ISO14000	基準	standard
		太陽光/風力	sunlight/wind power	国際環境政策/政策分析	international environmental policy/policy analysis
		LCA	life cycle assessment	材料リサイクル	material recycling
		大気環境/水質環境/土壌環境	air quality/water quality/soil environment	ライフサイクル管理	life cycle management
		排出ガス	emissions/emission gas	設計/生産	design/production
		燃費/熱効率	fuel economy/thermal efficiency	高耐用技術	long service life technology
		新エネルギー	new energy	規制/政策/標識	regulation/policy/markings
		再生可能エネルギー/リニューアブルエネルギー	recyclable energy/renewable energy	健康影響	health effects
		燃料/代替燃料	fuel/alternative fuel	評価モード	evaluation mode
		有害大気汚染物質	hazardous air pollutant	国際基準調和	global standard harmony
		温暖化ガス	heat-trapping gas/greenhouse gas	製造/使用/廃棄段階	manufacturing/use/disposal stage
		VOC	volatile organic compound	エネルギー製造	energy manufacturing
				気候変動	climate change
(D3)	⑪材料 materials	鉄鋼材料	iron and steel materials	試験/評価	test/evaluation
		軟鋼板/高張力鋼板/表面処理鋼板	low carbon steel sheet/mild steel sheet/high-strength steel sheet/surface treated steel sheet	モデリング	modeling
		ステンレス鋼	stainless steel	負荷シミュレーション	load simulation
		特殊鋼	special steel	信頼性/ロバスト設計	reliability/robust design
		鋳鉄	cast iron	防錆	rust prevention
		焼結材料/粉末合金	sintering material/powder alloy	軽量化	weight reduction/mass reduction
		非鉄材料	non-ferrous material	強度/剛性/耐磨耗	strength/stiffness/rigidity/wear resistance
		アルミニウム合金/マグネシウム合金/チタン合金	aluminum alloy/magnesium alloy/titanium alloy	疲労	fatigue
		複合材料	composite material	耐食/電食	anticorrosion/stray current corrosion/electrolytic corrosion
		高分子材料	polymer material	添加	addition
		エラストマ	elastomer	熱処理/焼き入れ	heat treatment/quenching
		ポリマー複合材	polymer composite material	表面処理/めっき	surface treatment/plating
		SMC	surface mount chip or sheet molding compound	鋳造/鍛造	casting/forging
		プラスチックサイクリング	plastic recycling	接合/結合/溶接	joining/coupling/welding
		インストパネル	instrument panel	プレス技術	press technology/stamping technology
		バンパ/車体/外装	bumper/body/vehicle body/exterior	プロセス	process
		内装/シート	interior/seat	精錬	smelting
接着剤	adhesive	加工性/リサイクル性	workability/recyclability		
塗料	paint	衝撃性/透明性	impact resistance/transparency		

		エンジンコンポーネント	engine component	耐熱/耐油/耐燃料/耐水/耐光	heat resistance/oil resistance/fuel resistance/water resistance/light resistance/light fastness
		シール/ガスケット	seal/gasket	平滑性	smoothness
		窓ガラス	window glass	絶縁性能	insulation performance
		構造用セラミクス/エレクトロセラミクス	structural ceramics/electroceramics	ナテクノロジー	nanotechnology
		二次電池材料/モーター用材料	secondary battery material (rechargeable battery material)/material for motor	破壊/酸化/劣化/耐熱性	fracture/oxidation/deterioration/degradation/heat resistance
		電磁鋼板	magnetic steel sheet	磁気特性	magnetic characteristics
		電解質	electrolyte	フリクション	friction
		永久磁石	permanent magnet		
		触媒	catalyst		
		グリス	grease		
(D4)	⑫生産・製造 production・manufacture	素形材	formed and fabricated materials	企画/意匠	planning/design
		成形加工	forming process	材料/コスト	material/cost
		付加工	additional machining	プレス/樹脂(プラスチック)	press/resin (plastics)
		チームワーク設計	teamwork design	機械加工/高エネルギー密度加工	machining/high energy density machining
		量産試作	quantity production prototyping	接合/溶接/肉盛り	joining/welding/weld overlay
		鋳造/鍛造/組立/塗装/艦装	casting/forging/assembly/painting/rig/trim	CAT/評価/品質	computer-aided testing/evaluation/quality
		生産計画/製造計画/生産管理/製造管理	production plan/manufacturing plan/production management/manufacturing control	検査/測定	inspection/measurement
		品質管理/供給系管理/日程管理	quality control/supply control/schedule control/schedule management	設計/試作	design/prototyping
		金型	die/mold	モジュール	module
		熱処理/表面処理	heat treatment/surface treatment	トータルコスト	total cost
		設備/保守/メンテナンス	equipment/maintenance		
		調達/購買	procurement/purchase		
		一貫生産	continuous production		
		PLM/BOM/PDM/MES	product lifecycle management/bill of materials/product data management/manufacturing execution system		
(E1)	⑬エレクトロニクス及び制御 electronics and control	電子デバイス/パワーデバイス	electronic device/power device	データ転送・蓄積	data transfer and storage
		電源IC	power supply integrated circuit	ハードウェア・ソフトウェア標準化	hardware and software standardization
		車載マイコン/車載ASIC	microprocessor/application specific integrated circuit	テスト情報管理	information management
		車載SoC/GPU,NPU	system on chip/graphic processing unit, neural processing unit	試験/計測/診断	test/measurement/diagnosis
		ECU/PCU	electronic control unit/power control unit	信頼性/シミュレーション	reliability/simulation
		フィジカルセンサ/ケミカルセンサ	physical sensor/chemical sensor	制御システム/ソフト	control system/software
		MEMS	micro electro mechanical systems	電子物性	electronic properties
		電動アクチュエータ	electrical actuator	電気回路/電子回路	electric circuit/electronic circuit
		LEDライト	light emitting diode light	車両センサ/アクチュエータ	vehicle sensor/actuator
		灯火系	light	画像処理	image processing
		ワイヤーハーネス/電力系ワイヤーハーネス	wiring harness/wire harness/electrical system wire harness	オンロードテスト/耐久テスト/部品レベルテスト	on-road test/duration test/durability test/parts level test
		EDR	event data recorder	新計測法	new measuring technique
		OBD	on-board diagnostics	知能化	intelligent
		ミリ波レーダ/レーザーレーダ(Lidar)/UWB	millimeter wave radar/laser radar/ultra wide band radar	システム工学	system engineering
		半導体カメラ/赤外カメラ	semiconductor camera/infrared camera	機能安全	functional safety
		表示デバイス/操作デバイス/警報・情報提供デバイス	device/operation device/warning and information	電気機器	electrical equipment
		車庫入れ支援システム	parking assist system	パッケージ/アセンブリ/実装技術	package/assembly/packaging technology
		ドライバ状態検知制御システム/セキュリティ制御システム	driver state detection control system/security control system		
		HMI表示/HMI操作/HMI情報提供システム	human machine interface display/human machine interface operation/human machine interface information provision system		
		画像認識システム/音声認識システム	image recognition system/speech recognition system		
		知的制御システム/自律走行システム	control system/autonomous land system/autonomous driving system		
		電力システム	electrical system		
		エンジン制御/トランスミッション制御/シャシー制御	engine control/transmission control/chassis control		
		衝突安全制御/予防安全制御/知能化安全制御	passive safety control/active safety control/intelligent safety control		

		統合制御/車体系制御/バイワイヤ制御/EV・HEV制御	integration control/vehicle body control/by-wire control/electric vehicle and hybrid electric vehicle control		
		制御シミュレーション/HILS	control simulation/hardware in the loop simulation		
		エコカーエレクトロニクス	environmentally friendly car electronics		
		制御ナビゲーション	control navigation		
		EMC (EMI/EMS)	electromagnetic compatibility (electromagnetic interference/electromagnetic susceptibility)		
		ロボティクス	robotics		
		自動運転	autonomous driving		
		隊列走行	platooning		
(E2)	⑭情報・通信及び知能化 information, communication, and	LIN	local interconnect network	車車間通信	inter-vehicle communication/vehicle-to-vehicle communication
		CAN	controller area network	情報システム	information system
		FlexRay	FlexRay	オーディオ	audio
		PLC	power line communication	ナビゲーション	navigation system
		車載高速通信	high-speed communication	環境認識	environment recognition
		ブルートゥース	Bluetooth	通信システム	communication system
		無線LAN	wireless local area network	室内ネットワーク/車両ネットワーク	interior network/vehicle network
		UWB通信	ultra wide band communication	IT/ITS	information technology/intelligent transport system
		WiMax	Worldwide Interoperability for Microwave Access	メディア情報	media information
		セルラー通信	cellular communication	エコドライブ	eco-drive/environmentally friendly driving
		インターネット通信	Internet communication	音声/物体認識	speech recognition/object Recognition
		V2X (ワイヤレス)	vehicle to everything communication	光通信	optical communication
		V2G/V2X (電力線)	vehicle to grid	WEBコンテンツ	web contents
		インタナビ交通情報	traffic information	分散処理システム	distributed processing system
		HDラジオ	HD Radio	マルチコアCPU	multi-core CPU
		PND	portable navigation device/personal navigation device	オペレーションシステム	operating system
		ドライブレコーダ	drive recorder		
		車両ナビゲーション/コミュニケーションシステム	vehicle navigation system/communication system		
		IVI/車載インフォテインメント	in vehicle infotainment		
		クラウドシステム	cloud system		
		スマートグリッド	smart grid		
		リモートダイアグ	remote diagnostics		
		電子すかし技術	digital watermark technology		
		セキュア通信プロトコル	secure communication protocol		
		ネットワークトレーサビリティ	network traceability		
		車載多重通信システム	on-board multiplex communication system		
		コネクテッドカー	connected car		
		遠隔操作	remote control		
(E2)	⑮ソフトウェアとその要素技術 software and its underlying technologies	ブロックチェーン	blockchain	最適化アルゴリズム	optimization algorithm
		サイバー攻撃手法	cyberattack methods	形式手法	formal methods
		ソフトウェアパーティショニング	software partitioning	並列/分散アルゴリズム	parallel/distributed algorithms
		データマイニング	data mining	量子技術	quantum technology
		データ可視化	data visualization	機械学習	machine learning
		データ表現フォーマット	data representation format	クラウドコンピューティング	cloud computing
		ファイルシステム	file system	エッジコンピューティング	edge computing
		データベース	database	IoT	IoT
		通信ミドルウェア	communication middleware	Web技術	web technologies
		言語処理系	language processing system	ユーザインタフェース/UX	user interface/UX
		オペレーティングシステム	operating system	マルチメディア	multimedia
		分散フレームワーク	distributed framework	計測・制御ソフトウェア	measurement and control software
		自動運転システムプラットフォーム (Autoware, Apollo)	autonomous driving system platform (Autoware, Apollo)	セーフティ (機能安全, SOTIF)	safety (functional safety, SOTIF)
		ビークルOS	vehicle OS	サイバーセキュリティ	cybersecurity
		モデリング言語	modeling language	プライバシー保護	privacy protection
		HILS, SILS	HILS, SILS	AI・データ解析	AI and data analysis
		デザインパターン	design pattern	ビッグデータ	big data
		プログラミング言語	programming language	データストレージ	data storage
		コーディングガイドライン	coding guidelines	通信ソフトウェア	communication software
		オートコード	auto code	ソフトウェアプラットフォーム	software platform
		テストフレームワーク	test framework	SDV	SDV
		デバッグツール	debug tool	ECU統合	ECU integration
		プロファイラ	profiler	ソフトウェア開発方法論	software development methodology
		テストカバレッジ	test coverage	ソフトウェア開発プロセス	software development process
		CI/CT	CI/CT	要求分析	requirements analysis
		能力評価モデル	CMMI (capability maturity model integration)	System-of-systems	system-of-systems
		アシュアランスケース	assurance case	システムズエンジニアリング/MBSE	systems engineering/MBSE
		セキュリティオペレーションセンター	security operation center	ソフトウェアアーキテクチャ	software architecture

(E3)		インシデント対応	incident response	CAE/シミュレーション	CAE/simulation
		脆弱性管理	vulnerability management	デジタルツイン	digital twin
		SBOM	SBOM	ソフトウェア設計	software design
		フォレンジック	forensic	コーディング	coding
		生成AI	generative AI	ソフトウェアテスト	software testing
		SLAM	SLAM	性能評価	performance evaluation
		ダイナミックマップ	dynamic map	ソフトウェア品質保証	software quality assurance
		侵入検知	intrusion detection	情報システム運用	information system operation
		耐量子暗号	post-quantum cryptography	DevOps	DevOps
		メッセージ認証コード	message authentication code	ソフトウェア保守	software maintenance
		電子署名	digital signature	キャリブレーション	calibration
		ISO 26262	ISO 26262	動的テスト手法	dynamic testing
		セキュリティ要求分析	security requirements analysis	静的テスト手法	static testing
		XML	XML	アジャイル開発手法	agile development
		DDS	DDS	ソフトウェア品質手法	software quality
		SOME/IP	SOME/IP	人間中心設計	human-centered design
		AUTOSAR	AUTOSAR	オブジェクト指向設計	object-oriented design
		AGL (Automotive Grade Linux)	AGL (Automotive Grade Linux)	モデルベース設計 (MBD)	model-based design (MBD)
		ROS (Robot Operating System)	ROS (Robot Operating System)	コンテナ技術	container
		UML	UML	リアルタイム性保証技術	real-time assurance
		SysML	SysML	ソフトウェア設計技術	software design
		ソフトウェアプロダクトライン開発	software product line development	OTA技術	OTA technology
		サービス指向アーキテクチャ (SOA)	service-oriented architecture (SOA)	要求分析技術	requirements analysis
		MISRA-C	MISRA-C	アーキテクチャ設計技術	Architecture Design Techniques
		コードレビュー	code review	分散コンピューティング技術	distributed computing
		リファクタリング	refactoring	仮想化技術	virtualization
		Automotive SPICE	Automotive SPICE	ハードウェア診断技術	hardware diagnostic
	セーフティケース	safety case	ソフトウェア自己診断技術	software self-diagnostic	
	レートモニタリングアナリシス	rate monotonic analysis			
(F1)	⑯ 社会システム social system	省エネ運転	energy-saving driving	交通環境	traffic environment
		電気社会システム	electricity-based society systems	交通工学	traffic engineering
		スマートシティ	smart city	交通流	traffic stream
		交通流制御	traffic stream control	安全教育	safety education
		エネルギーインフラ	energy infrastructure	道路	road
		道路インフラ	road infrastructure		
(F2)	⑰ 法規・技術者倫理等 regulation/engineering ethics	カー/ライドシェア	car/ride sharing		
		規格/規制	standard/regulation		
		法規/認証	regulation/certification		
		エシカルエンジニアリング (倫理)	ethical engineering		
		知財	intellectual property		
		政策提案	policy proposal		
		技術者教育/育成	engineering education/training		
		人材管理	human resources management		
		人材育成	human resources development		
		組織管理	organization management		
		プロジェクト管理	project management		
		開発プロセス管理	development process management		
		課題トラッキングシステム	issue tracking system		
		トレーサビリティ管理	traceability management		
		要件管理	requirements management		
(F3)	⑱ その他のモビリティ other means of mobility	構成管理・バージョン管理	configuration and version management		
		知識/スキル体系	knowledge/skill framework		
		自動車技術史	history of automotive technology		
		航空機	airplane		
		アビオニクス	avionics		
		海洋/船舶	marine/shipping		
		航空宇宙	aerospace		
		鉄道	rail		
		パーソナルモビリティ	personal mobility		

#	略語	英語フルスペル	日本語
1	ABS	Antilock Brake System	アンチロックブレーキシステム
2	ACC	Adaptive Cruise Control	車間距離制御システム
3	AMT	Automated Manual Transmission	自動化マニュアルトランスミッション
4	AWD	All Wheel Drive	全輪駆動(4輪駆動)
5	BDF	Bio Diesel Fuel	バイオディーゼルフューエル
6	BOM	Bills of Materials	部品表
7	CAD	Computer Aided Design	コンピュータ支援設計
8	CAE	Computer Aided Engineering	コンピュータ支援技術
9	CAM	Computer Aided Manufacturing	コンピュータ支援加工
10	CAN	Controller Area Network	コントローラエリアネットワーク
11	CAT	Computer Aided Testing	コンピュータ支援検査
12	CFD	Computational Fluid Dynamics	数値流体力学
13	CRS	Child Restraint System	幼児拘束装置
14	CVT	Continuously Variable Transmission	無段変速機
15	DCT	Dual Clutch Transmission	デュアルクラッチトランスミッション
16	DME	Dimethyl Ether	ジメチルエーテル
17	ECU	Electronic Control Unit	エンジン制御コンピュータ
18	EDR	Event Data Recorder	イベントレコーダ
19	EMC	Electromagnetic Compatibility	電磁妨害感受性
20	EMI	Electromagnetic Interference	電波障害
21	EMS	Electromagnetic Susceptibility	電磁的免疫性
22	EV	Electric Vehicle	電気自動車
23	FT	Fischer Tropsch	フィッシャートロプシュ
24	HD	High Definition	ハイデフィニション
25	HEV	Hybrid Electric Vehicle	ハイブリッドカー
26	HILS	Hardware In the Loop Simulation	HILシミュレーション
27	HMI	Human Machine Interface	ヒューマンマシンインタフェース
28	ISS	Injury Severity Score	傷害度スコア
29	IT	Information Technology	情報技術
30	ITS	Intelligent Transport System	高度道路交通システム
31	LCA	Life Cycle Assessment	ライフサイクルアセスメント
32	LED	Light Emitting Diode	発光ダイオード
33	LIN	Local Interconnect Network	ローカルインタコネクトネットワーク
34	LSI	Large Scale Integration Circuit	大規模集積回路
35	MEMS	Micro Electro Mechanical Systems	メムス
36	MES	Manufacturing Execution System	製造実行システム
37	OBD	On Board Diagnosis	車載診断
38	PCU	Power Control Unit	パワーコントロールユニット
39	PDM	Product Data Management	製品情報管理
40	PLC	Power Line Communications	電力線搬送通信
41	PLM	Product Lifecycle Management	製品ライフサイクル管理
42	PND	Portable Navigation Device	可搬型ナビゲーション装置
43	SCR	Selective Catalytic Reduction	選択触媒還元
44	SMC	Sheet Molding Compound	シートモールディングコンパウンド
45	SOC	State Of Charge	充電レベル
46	UWB	Ultra Wide Band Radar	超広帯域無線
47	V2G	Vehicle to Grid	ビークルトゥグリッド
48	VOC	Volatile Organic Compounds	揮発性有機化合物

公益社団法人自動車技術会 学術講演会原稿執筆要領

1989年 10月 1日	第 1 版 発行	2011年 2月 7日	第 21 版 発行
1991年 9月 1日	第 2 版 発行	2011年 6月 15日	第 22 版 発行
1993年 10月 1日	第 3 版 発行	2012年 6月 15日	第 23 版 発行
1994年 10月 1日	第 4 版 発行	2013年 2月 1日	第 24 版 発行
1995年 10月 1日	第 5 版 発行	2013年 10月 1日	第 25 版 発行
1996年 10月 1日	第 6 版 発行	2014年 9月 1日	第 26 版 発行
1997年 10月 1日	第 7 版 発行	2016年 2月 1日	第 27 版 発行
1998年 10月 1日	第 8 版 発行	2018年 10月 9日	第 28 版 発行
1999年 10月 1日	第 9 版 発行	2021年 10月 1日	第 29 版 発行
2000年 3月 1日	第 10 版 発行	2025年 12月 15日	第 30 版 発行
2000年 9月 1日	第 11 版 発行	2026年 2月 18日	第 31 版 発行
2001年 1月 1日	第 12 版 発行		
2003年 2月 1日	第 13 版 発行		
2004年 1月 9日	第 14 版 発行		
2006年 2月 1日	第 15 版 発行		
2009年 2月 1日	第 16 版 発行		
2009年 8月 1日	第 17 版 発行		
2009年 10月 1日	第 18 版 発行		
2010年 2月 1日	第 19 版 発行		
2010年 7月 9日	第 20 版 発行		

編 集 学術講演会運営委員会

発行所 公益社団法人 自動車技術会

〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2

事務局：技術交流課

Tel. 03-3262-8235

Fax. 03-3261-2204

E-mail: tech@jsae.or.jp

© 自動車技術会, 2026

本誌に掲載された全ての記事内容は、公益社団法人自動車技術会の許可なく転載・複写することは出来ません。